

第1学年 国語科学習指導案

日時 平成28年11月2日(水) 5校時
場所 1年教室
児童 男子7名 女子14名 計21名
指導者 佐々木 徳子

1 単元名 じどう車ずかんをつくろう(読むこと)

主な学習材 「じどう車くらべ」(光村図書1年)

【目指す児童の姿】

- 知識を得るために、事物の仕組みなどについて説明した本や文章から大事な言葉や文を書き抜くことができる。
- 事柄の順序に沿って、簡単な構成を考え、文と文の続き方に注意しながら、つながりのある文章を書くことができる。

【取り入れる主なUDの視点】

- 1-③ 興味・関心を高める工夫
- 4-② 発達段階に応じた工夫
- 1-⑨ 満足感・達成感を実感できる活動

2 単元について

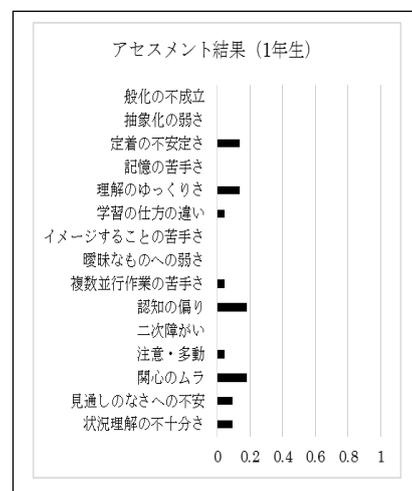
(1) 児童について

本学級の児童は、全体的に落ち着いて学習に向かうことができ、年度当初より国語の学習に意欲的に取り組んできた。国語に関する意識調査では、「とても好き」「好き」を合わせると、「話を聞くことは好きですか。」は90%、「文章を書くことは好きですか。」は100%、「読書は好きですか。」は95%であった。しかし、「関心のムラ」「認知の偏り」「理解のゆっくりさ」が見られる児童もいることから、分かりやすく指示を出すことを心掛け、読み取りや書く活動などにおいて個別に配慮して指導をしてきた。

国語科の説明的文章の学習においては、これまで、一年上「くちばし」で、「問い」+「答え」の繰り返しで構成された文章を、さらに、「うみのかくれんぼ」で「問い+答え+答え+答え」で構成された文章を読んだ。「くちばし」では、「問い」「答え」に赤青のシールを貼り、「問い」と「答え」を意識して読ませたり、文末に気を付けて読ませたりする中で、「問い」と「答え」を弁別できるようになった。また、「くちばしクイズ」をしたことで、「問い」のあとに「答え」があることについて理解させた。「うみのかくれんぼ」では、「なにが」「どこに」「どのように」隠れているのかについて赤青のサイドラインを引いて内容を捉えさせながら、問答を繰り返すことで、内容について理解を深めてきている。また、「答え」に当たる部分を書き抜かせたことで、より文章の構成上の順序に気を付けながら読めるようになってきた。本単元においては、レディネステストの結果、乗り物について「どんなしごとをしていますか」「そのために、なにが〇〇ですか。」の問いに対して答えることができた児童は多かった。内容の大体を読み取ることができる児童が多いという実態が分かったので、授業では、読み取ることには時間をかけ過ぎるよりは、習熟の方に時間をかけるという授業を展開していくことがよいといえる。そこで、本単元では、「じどう車ずかんを作ろう」という目的に向かって、乗り物などの図鑑を並行読書しながら、学習材で学習を進めていき、その際、『『どんな仕事をする乗り物か』『その仕事をするために、どんな素晴らしいつくりになっているか』を見つけよう』と視点を与え、仕事とつくりを関係付けて読み進めることができるようにしていきたい。

(2) 学習材について

本学習材は、この時期の児童にとって身近で興味・関心がある代表的なものの一つである自動車を取り上げている。また、一年上「うみのかくれんぼ」と同様、「問い+答え+答え+答え」という列挙型の構成になっている説明文である。「どんな仕事をするのか」「どんなつくりになっているのか」という二つの問いに対して、それぞれ答えが書かれている。「仕事」と「つくり」を「そのために」という接続語でつないでいるため、その関係性を捉えやすい。しかし、「じどう車ずかん作り」の段階で、児童が並行読書をしている本から「つくり」を書き抜く際に、「仕



事」に関係のないものを書き抜くことが考えられるので、「仕事」と「つくり」を表に書き抜いて整理することで、その関係性をいっそうはっきりと理解させながら、読み進めていこうと考えた。

(3) 指導にあたって

○本や文章から大事な言葉や文を書き抜くことができるように（4-②発達段階に応じた工夫）

- ・色別のサイドラインを引く。
- ・学習プリントも、「しごと」（赤）・「つくり」（青）の色別にする。

○児童の読みたいという意欲や関心を高め、自動車のつくりについて考えを促すために（1-③興味関心を高める工夫）

- ・自動車の写真を掲示する。

○満足感・達成感を実感できるようにするために（1-⑨満足感・達成感を実感できる活動）

- ・「しごと」と「つくり」が「そのために」でつながるような「自動車クイズ」をしかける。（4-②発達段階に応じた工夫）

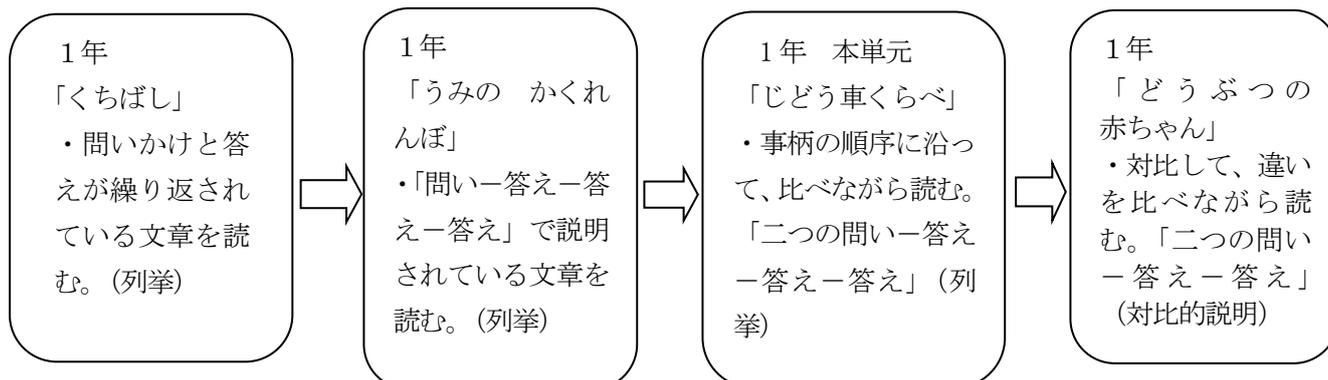
○事柄の順序に沿って、簡単な構成を考え、文と文の続き方に注意しながら、つながりのある文章を書くことができるように（4-②発達段階に応じた工夫）

- ・「仕事」と「つくり」を表に書き抜いて整理する。

3 単元の指導目標と評価規準

項目	目標	評価規準
国語への関心・意欲・態度	自動車について説明されている絵本や図鑑、文章などを読み、進んで調べようとする。	自動車について説明されている絵本や図鑑、文章などを読み、進んで調べようとしている。
読む能力	知識を得るために、事柄の順序を考えながら内容の大体を読み、本や文章から大事な言葉や文を書き抜くことができる。 (1) イ・エ・カ	・事柄の順序を考えながら読み、内容の大体を理解している。 ・本や文章の中から、必要な言葉や文を書き抜いている。 ・知識を得るために本や文章を選んで読んでいる。
書く能力	事柄の順序に沿って、簡単な構成を考え、文と文の続き方に注意しながら、つながりのある文章を書くことができる。 (1) イ・ウ・オ	・「そのために」を使って文と文をつなぎ、自動車の仕事とつくりを説明する文章を書いている。 ・書いた文章を、友達と読み合い、よいところについて感想を伝え合っている。
言語についての知識・理解・技能	長音・拗音・促音などの表記や、句読点を正しく使って書くことができる。(1) イ (エ) (オ)	長音・拗音・促音などの表記や、句読点を適切に用いて書いている。

4 単元の関連と系統 <読むこと (1) イ・エ・カ >



5 学習指導計画（全12時間）

【指導過程】	【主な学習活動】	【言語活動】	【取り入れるUDの視点】
<p>第1次 単元のねらいを知り、学習の見通しをもつ。 (2時間)</p>	<p>① 知っている自動車について話し合う。図鑑と「じどう車カード」例を見、図鑑作りの意欲をもつ。 ② P28の範読を聞き、学習課題を設定する。</p>	◆ じ ど う 車 ず か ん を 作 ら う 。	<p>1-③ 興味・関心を高める工夫</p>
<p>第2次 「じどう車くらべ」を読み、「しごと」と「つくり」を書き抜く。 (4時間)</p>	<p>③全文を読み、気付いたことを話し合う。 ④じどう車ずかん「バス」「じょうよう車」を作る。 ⑤じどう車ずかん「トラック」を作る。(本時) ⑥じどう車ずかん「クレーン車」を作る。</p>		<p>4-② 発達段階に応じた工夫 1-⑨ 満足感・達成感を实感できる活動</p>
<p>第3次 絵本や図鑑を読んで「じどう車ずかん」を作り、交流する。 (6時間)</p>	<p>⑦じどう車ずかん「はしご車」を作る。 ⑧じどう車ずかん「きゅうきゅう車」を作る。 ⑨⑩⑪ ・自分で選んだ自動車の「しごと」と「つくり」を書き抜き、絵を添えて、自動車図鑑を完成させる。 ⑫お互いの自動車図鑑を読み合って、感想を伝え合う。</p>		<p>4-② 発達段階に応じた工夫 1-⑨ 満足感・達成感を实感できる活動</p>

6 本時の指導（5/12）

(1) 目標と評価規準

トラックの「しごと」と「つくり」を捉えることができる。読(1)イ,エ	
具体の評価規準	
A	B
・トラックの「つくり」が「しごと」とどのように関連しているかを、自分の言葉で説明している。(発言)	・トラックの「しごと」と「つくり」の文を捉えている。(発言、赤・青のサイドライン)

(3) 板書計画

じどう車くらへ

トラックは、どんなしごとをしていますか。
そのために、どんなつくりになっていますか。

トラックは、

にもつを はこぶ

しごとを しています。

そのために

トラックの絵

トラックの絵

つくり

うんてんせきの ほかは、

ひろい にだいに なっています。

おもいにもつを のせるトラックには、

タイヤが たくさん ついて います。